

井の頭恩賜公園 100 年実行委員会

井の頭恩賜公園は、大正 6 年（1917 年）5 月に日本初の郊外型公園として開園し、平成 29 年 5 月には、開園 100 年を迎えます。

この長い歴史の中で、周辺は都市化が進み武蔵野の風景が失われてきました。

それでも、井の頭恩賜公園は、豊かな森と水の残る貴重な空間として、私達を迎え今も包んでくれます。

この豊かな自然環境をどうしたら後世に残せるでしょうか。

また、吉祥寺や三鷹の街に近いロケーションから多くの老若男女が公園を訪れます。

恵まれた環境を活かし、更に公園の魅力を高めるために何が出来るのか、皆さんとともに考えたいと思います。

井の頭恩賜公園が 100 年を迎えるおよそ 10 年後に向かって、地域と連携して井の頭恩賜公園のあり方を考え、行動するために、平成 18 年 7 月、市民、関係団体、行政が参加した「井の頭恩賜公園 100 年実行委員会」が設置されました。

委員会の構成（平成 19 年 8 月 1 日現在）

武蔵野市・三鷹市・武蔵野商工会議所・三鷹商工会・（財）東京都公園協会
（財）東京動物園協会・東京吉祥寺ライオンズクラブ・東京三鷹ライオンズクラブ
武蔵野三鷹ケーブルテレビ（株）・東京武蔵野ライオンズクラブ
東京武蔵野ロータリークラブ・東京武蔵野中央ロータリークラブ・武蔵野市商店会連合会
吉祥寺活性化協議会・東京三鷹ロータリークラブ・東京井の頭ロータリークラブ
三鷹市商店会連合会・みたか都市観光協会・（株）まちづくり三鷹
（財）三鷹芸術文化振興財団・東京都西部公園緑地事務所（事務局）

井の頭恩賜公園 100 年事業

井の頭恩賜公園 100 年事業は、「水と緑の再生」と「公園を核とする街の賑わいの創出」の二つを柱として、様々な事業展開を図っていきます。

これまでも「自然湧水の復活は可能だ・・よみがえれ！！井の頭池！」や「水・緑・文化・・ようこそ吉祥寺・三鷹・井の頭公園へ」などのシンポジウムを開催したほか、アート系の出展を通じ、出展者と公園を訪れる多くの皆さんとが触れ合うことができる「井の頭恩賜公園アートマーケット」の実施などにも取り組んでいます。